

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会
平成 29 年度第 3 回理事会議事録

開催日時： 平成 30 年 5 月 19 日（土）15：00 より 17：00

開催場所： ステーションコンファレンス東京 【402AB】
（東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー4F）

出席理事： 出席理事数 13 名（理事総数 22 名）

大森 豪、勝川 史憲、川原 貴、黒坂 昌弘、坂本 静男、馬場 礼三、
細井 雅之、増島 篤、松本 秀男、水田 博志、武者 春樹、山下 敏彦、
吉矢 晋一

出席監事： 出席監事数 2 名（監事総数 2 名）

牧田 茂、南 和文

（50 音順・敬称略）

議長： 松本 秀男

議事の経過の要領及びその結果

（1）議長選任

理事長 川原 貴は、開会に当たり、松本 秀男を議長とする提案を行った。全員に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

（2）定足数の確認

議長は本日の出席が理事 13 名であり、理事総数 22 名中 13 名の出席を得て、定款 35 条第 1 項の「理事の過半数が出席」していることにより理事会が有効に成立したことを説明した。

報告事項

平成 29 年度中間報告

1. 平成 29 年度学会員数中間報告

議長は資料に基づき平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 5 月 15 日までの学会員数について報告した。半期の時点での会員数は微増であった。

2. 平成 29 年度中間収支報告

議長の指名により、財務委員長理事 吉矢 晋一は資料に基づき平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 5 月 10 日までの収支について報告した。

各委員会 審議・報告事項

1. 総務委員会

・30周年記念誌の制作について

議長の指名により、理事 増島 篤は30周年記念誌の制作委員会について説明した。2019年の30周年にあわせ記念誌を制作すべく、委員会を立ち上げることに付いて提案した所、満場一致で承認を得た。構成は委員長：増島 篤 委員：勝川 史憲、藤谷 博人、松本 秀男、渡會 公治

・日本スポーツ栄養学会との連携について

理事長 川原 貴より、日本スポーツ栄養学会より改めて合同シンポジウム開催の協力依頼があった事が報告された。これを受けるとし、今後は理事長 川原 貴が窓口となり、計画を進める予定である。

・公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団からの助成金について

理事長 川原 貴より、公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団から助成金の提案があり、既に日本臨床スポーツ医学会から必要資料を提供していることが報告された。100万円の助成が見込まれているおり、助成金の使途はスポーツ医学の啓蒙活動、学生のための医学セミナー、公開シンポジウム、日韓トラベリングフェロー等の国際交流のための資金に当てる予定。

・今後のチームドクター&トレーナーミーティング開催について

昨年第10回まで開催していたチームドクター&トレーナーミーティングについて、共催していた久光製薬が本年より共催を降りるとの事で、一旦打ち切りとする事が報告された。

2018年11月の第29回学術集会の際は、学術集会の中でプログラムを組み入れ、IFドクター、シニアトレーナーを交えてフリートークなど行うワークショップを開催予定としている。

今後は日本アスレティックトレーニング学会と合同でシンポジウムなどの形で開催計画を立てる予定である。

・第39回バイオメカニズム学術講演会協賛について

例年同様バイオメカニズム学術講演会の協賛依頼があり、承諾済みであることを報告した。

・事務局会員管理システムの検討について

事務局にて会員管理システムを新たに導入することを検討している。京葉コンピューターサービスより提案のあった企画案、見積りの資料に基づき確認した。開設費用、サーバー

保守費用を確認し、理事へ伺った所、他のシステム会社も視野に入れ、相見積もりを取るなどが必要になるのではとの意見があった。

・日本医学会連合 診療ガイドライン統括委員長会議の参加者推薦について

日本医学会連合より、診療ガイドライン統括委員長会議の参加者の推薦依頼があり、総務委員会にて審議した結果、理事 武者 春樹を推薦することとなった。意見を伺った所、満場一致で承認を得た。

・ICSEMIS 参画について

オリンピック・パラリンピック夏季大会開催にあわせ、大会開催国の都市において、体育学、スポーツ・健康科学の学際的国際会議（ICSEMIS）が開催される。臨床スポーツ医学会へ参画依頼があったため、意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

・学会での役職名義の名刺作成について

学会での役職名義の名刺を作成する提案があり、確認した。満場一致で承認を得たため、理事・監事全員の名刺を 100 枚ずつ制作することで決定した。裏面には英語表記も記載することとした。

2. 編集委員会

・投稿規程の改訂について：原著，資料，総説

編集委員長理事 勝川 史憲は投稿規程に掲載のなかった、原著・資料・総説の区分説明の部分を追加する事を提案。また、“解説”に区分された投稿論文はほぼ無いため、規程から削除する。意見を求めた所、満場一致で承認を得た。来年度からの改訂を予定。

・(株)メテオ・学術著作権協会 著作権委託契約の検討について

(株)メテオ、一般社団法人学術著作権協会の著作権権利委託事業について確認した。2社共に委託は非独占的であるため、両方に加入する方向で提案し、意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

・一般投稿論文及び依頼原稿論文状況について

編集委員長理事 勝川 史憲は、平成 28 年度及び平成 29 年度の各年度投稿総数と査読状況について報告した。ついで、第 28 回学術集会の依頼原稿の寄稿状況について資料に基づき報告した。

2. 学術委員会

・平成 29 年度各部会中間報告

学術委員長理事 武者 春樹は資料に基づき、各部会の平成 29 年度各部会中間報告を報告した。

・2018 年公開シンポジウム開催報告

学術委員長理事 武者 春樹は資料に基づき、2018 年公開シンポジウムの開催報告を行った。2018 年公開シンポジウムは脳神経外科部会が担当であり、2018 年 1 月 27 日(土)にステーションコンファレンス東京にて開催されたことを報告した。

・2019 年公開シンポジウム開催予定

学術委員長理事 武者 春樹は資料に基づき 2019 年公開シンポジウム開催予定について説明した。2019 年公開シンポジウムは整形外科部会が担当であり、2019 年 1 月 26 日(土)に東京大学 伊藤国際学術研究センターにて開催予定であることを報告した。

・第 14 回/第 15 回以降学生のための医学セミナー予定

学術委員長理事 武者 春樹は資料に基づき第 14 回学生のための医学セミナーについて、2018 年 11 月 25 日(日)代議員 永富 良一(東北大学大学院医工学研究科) 担当により開催予定であることを報告した。ついで、第 15 回学生のための医学セミナーは理事 大森 豪に担当を依頼する予定であることを説明した。

・第 30 回日本医学会総会 2019 中部 分科会特別展示について

標題の件の依頼があり、総務委員会にてパネル展示参加をすることで決定したことが報告された。詳細については学術委員会にて改めて検討する。

・日本スポーツ治療医学研究会 研究助成の対象者決定について

標題の件で、学会で候補を募り、対象者を 2 名推薦していたが、両名とも助成対象に選ばれたことを報告した。次年度以降も同様の助成金枠(2~3 名)が得られるようであり、今回と同様の手段(HP で募集後、学術委員会)で推薦者を決定する予定である。

3. 資格審査委員会

・准会員資格審査結果

資料に基づき 2017/10~2018/04 にかけての准会員入会申請の際の資格審査結果を確認した。資格・身分その他が 2 件あったが、全 39 件全て入会を了承された。

・准会員から正会員への申請

2月に准会員から正会員への申請が1名あり、確認した。早稲田大学 広瀬 統一 准会員について資格審査委員全員から承諾を受けたため、理事へ意見を求めた所、満場一致で承認を得た。正会員へ登録変更後、広瀬氏は編集委員のメンバーに加入する予定。

5.倫理・COI委員会

臨床研究法施行について

2018年4月より臨床研究法が施行された件について周知を促した。

6. オリンピック・パラリンピック等準備委員会

・2020年オリンピック・パラリンピック医療提供サービス協力について

競技大会組織委員会より、選手村総合診療所の医師の推薦依頼があり、学会にて推薦候補を募ることとなった。整形外科40名、内科20名程度の枠で6月末までの募集を行うことを提案し、意見を求めた所、満場一致で承認を得た。

・2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急災害医療体制検討合同委員会について

東京オリンピック2020開催中の救急災害医療体制に係る学術連合体に当学会が参画し、山澤理事が担当として参加している。東京オリンピック2020における救急・災害医療ガイドライン作成について、今後理事や代議員の協力を要することとなることを周知した。

その他報告事項

1. 第29回学術集会 進捗状況について

第29回学術集會会長理事 増島 篤は資料に基づき、2018年11月2日、3日開催予定である学術集會進捗状況を報告した。

特別講演4題、招待講演、シンポジウム10題、教育研修講演6題、ワークショップ等を予定している。4日には市民公開講座を行う。

2. 第30回学術集会及び第31回学術集会について

議長は資料に基づき、第30回学術集会及び第31回学術集会開催予定を説明した。

○第30回日本臨床スポーツ医学会学術集会

会長：山澤 文裕 理事（丸紅健康開発センター）

会期：2019年11月16日（土）・17日（日）

会場：パシフィコ横浜

テーマ：Generation to generation 次の世代へ

特別講演：末松 誠（国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長）

○第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会

会長：帖佐悦男 理事（宮崎大学医学部整形外科）

会期：2020年10月17日（土）・18日（日）

会場：シーガイアコンベンションセンター

3. 次回学術集会・理事会開催日程について

開催予定は下記の通りである。

第29回学術集会日程

日程：平成30年11月2日（金）・3日（土）

会場：札幌コンベンションセンター

理事会・委員会・定時総会日程

会場：札幌コンベンションセンター

〒003-0006

札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

TEL：011-817-1010（代）

<https://www.sora-scc.jp/>

日時：平成30年11月1日（木）

14:20～15:00資格審査委員会

14:00～15:00学術委員会

15:00～17:00理事会

17:30～18:30定時総会

19:00～21:00会長招宴

以上を以て、審議すべき予定につき全て了したので、閉会を議長は宣した。
上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し記名押印する。

平成 30 年 5 月 19 日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会

理事長 川原 貴

議長 副理事長 松本 秀男

監 事 牧田 茂

監 事 南 和文